



9月21日は世界アルツハイマーデー

病気を理解して 早期発見を

■問い合わせ 介護保険課 ☎ 23-3226

認知症を引き起こすさまざまな病気

みなさんは、アルツハイマー病をご存じですか？これは、進行していくと日常生活での簡単な作業さえもできなくなってしまう病気。近年、高齢化が進み急増しているといわれる認知症の原因の1つです。認知症の原因となるものは脳血管性、レビー小体型、前頭側頭型認知症などがありますが、現在のところ、アルツハイマー型が一番多いといわれています。

軽度認知障害 (MCI)

認知機能の一部に障がいが見られるものの、日常生活には支障が出ていない状態。診断されると半数以上がその後、アルツハイマー病等へ進行するともいわれています。

加齢によるものとして見過ごされる場合が多いため、初期段階で見られる異変やサインを知り、早期発見と対応が大切です。

本人・家族を支える取り組み

市では、関係機関と協力して、次のような取り組みを行っています。

1 市民版「認知症ケアパス・認知症チェックリスト版」

自分や周りの人の状態を把握できるようにチェックリストを載せています。

また、安来市認知症初期集中支援チームの医師がいる医院や物忘れ外来設置の医療機関の連絡先なども載せています。

家族や身近な人などで気になることがありましたらぜひご活用ください。

市役所窓口や地域包括支援センターなどに置いてありますので、ご自由にお持ち帰りください。



2 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守るサポーターを養成しています。おおむね5人以上の団体に市から講師を派遣します。講座は60分から90分程度で無料です。

3 認知症家族のつどい

参加者同士で介護相談や情報交換を行います。
日時：毎月第3月曜日 10時～12時（9月は第2月曜日）
場所：安来中央交流センター
※介護保険課、安来市地域包括支援センターはくたまで申し込みください。



◀本人・家族への相談支援の場が大切です。

4 早期相談窓口

地域包括支援センターには認知症地域支援推進員を配置した窓口を設置。介護予防事業や医療、介護保険サービスなどの相談ができます。

- 地域包括支援センター（総合相談）
☎ 32-9110
- 地域包括支援センターはくた（認知症相談窓口）
☎ 37-1540